

## *H. pylori*に対する*Lactobacillus gasseri* GL-752と 抗*H. pylori* ウレアーゼ卵黄抗体 (IgY) の併用摂取による ヒトにおける相乗的抑制効果の検証

梅田浩二<sup>1</sup>、ヌグエンバンサー<sup>1</sup>、Hyuk-Joon Choi<sup>2</sup>、児玉義勝<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>樹ケン・コーポレーション 免疫研究所、<sup>2</sup>BK bio)

昨年の本シンポジウムにて、健康成人の胃液から分離された耐酸性に優れ且つ、*H. pylori*に対して抑制効果を示す乳酸菌と、抗*H. pylori*ウレアーゼIgYの相乗的抑制効果を、*In vitro*及び、*In vitro*試験にて発表した。現在我々は、ヒトにおける検証を行っており、第一段階として便中*H. pylori*抗原測定値を評価項目とした予備ヒト試験を実施した。

*L. gasseri* GL-752  $1 \times 10^9$  cfuと抗*H. pylori* ウレアーゼ IgY含有卵黄液1gをドリンクタイプヨーグルト150mL/1本に配合したものを試験食品とし、韓国にて市販されているドリンクタイプヨーグルト製品 (150mL/1本) をコントロール食品とした。健康成人124名を便中*H. pylori*抗原測定法にて感染診断後、陽性者をリクルートして、試験食品群とコントロール食品群に分けそれぞれ1日1本を8週間連続摂取した。その結果、摂取8週時において、試験食品群はコントロール食品群に比べて有意な減少を認めた。

*H. pylori*に対する*L. gasseri* GL-752と抗*H. pylori*ウレアーゼIgYの相乗的抑制効果が予備ヒト試験においても確認されたことより、機能性食品への応用と、長期摂取による除菌へのアプローチも期待される。